

公共交通で行く Vol.4

発行：和歌山県総合交通政策課企画班

第4回目は、醤油にゆかりのある町と寺社巡りを満喫できるルートをご紹介します！

醤油の発祥地といえば、湯浅町が有名で「**最初の一滴～醤油醸造発祥の地 紀州湯浅～**」が、平成29年に日本遺産に登録されました。今回は、醸造業関連の町家や土蔵を代表とする、近世から近代にかけての伝統的な建造物が数多く存在する湯浅町を訪れます。湯浅町には、今もなお、醤油醸造などの商工業を中心に発展した町並み「**重要伝統的建造物群保存地区**」が残っており、趣きのある町並みを歩きながら、歴史に思いを馳せることができます。

ちなみに、醤油は**金山寺味噌**の底に溜まった液体（たまり）が発祥と言われています。そのため金山寺味噌を作るところは、醤油の醸造も行っていることが多くあります。今回は、その金山寺味噌の起源とされる**興国寺**（由良町）にも訪れます。起源については諸説ありますが、今から約750年前の鎌倉時代に興国寺へ伝わったという説が有力です。

安珍と清姫の物語で有名な**道成寺**（御坊市）にも訪れます。参拝の途中、一夜の宿を求めた僧・安珍に清姫が懸想し、恋の炎を燃やし、裏切られたと知るや大蛇となって安珍を追い、最後には道成寺の鐘の中に逃げた安珍を焼き殺すという、安珍清姫の物語を聞いたことがあるという方もいるかもしれません。現在も、能楽や歌舞伎などで「道成寺物」として語り継がれています

1 紀中「醤油ゆかりの町と寺社巡り」コース (ダイヤ・料金はR3.1月現在)

① 道成寺

・和歌山駅 (8:06 発、きのくに線普通列車) 乗車→道成寺駅 (9:11 着) 降車→(徒歩)→道成寺 (散策時間 約1時間)

☞ 毎日3~10回、随時住職さんによる絵解き説法が行われています。楽しく、分かりやすく安珍清姫の物語について教えてもらえます。

② 興国寺

・道成寺駅 (10:52 発) 乗車→御坊駅 (10:55 着) 乗換 (11:03 発◇きのくに線(和歌山行))→紀伊由良駅 (11:11 着) →(徒歩10分)→興国寺 (散策時間 約20分)

☞ 興国寺は、豊臣秀吉の紀伊攻めの中で伽藍の大半を焼失しました。興国寺再建のために全国各地に寺僧が勧進して回るなか、その中の一人が赤城山の天狗と出会い、その強い志を知った天狗達が一夜にして堂宇を再建したという伝承があります。

③ 衣奈八幡神社

・興国寺 (11:40 発) →(徒歩15分)→衣奈八幡神社 (散策時間 約15分)

☞ 興国寺を出て、坂道を登りきると衣奈トンネルがあります。トンネルを通り抜けて、そのまま道なりに進んでいくと、右手に、南海道で最も古い八幡宮の一つである衣奈八幡神社の入り口が見えてきます。

④ 湯浅町 [重要伝統的建造物群保存地区]

・衣奈バス停 (12:30 発◇中紀バス湯浅線) 乗車→湯浅駅 (12:54 着)

→昼食→重要伝統的建造物群保存地区 (散策時間 約2時間)

☞ 中紀バスに乗ると、衣奈を出て少しの間、綺麗な海の景色を楽しむことができます🚌
湯浅では、醤油の醸造器具が展示された資料館や、江戸の終わりから昭和の終わりまで営業していたお風呂屋さんなどがあり、見学ができます。また、カフェなどもあるので、休憩しながら散策ができます☺

⑤ 帰路

・湯浅駅 (15:51 発) →和歌山駅 (16:36 着) 降車

☞ 湯浅駅は新駅舎が完成し、また複合施設「湯浅えき蔵」が令和2年10月に全面オープンしました。醤油蔵をイメージした建物となっており、1階には観光案内所があり、2階には町立図書館があります。帰りに立ち寄ってみてはいかがでしょうか👉

○料金

合計 2,460 円 ※別途拝観料等が必要

・電車 1,870 円(往路:1,190 円/復路:680 円)

・バス 590 円

2 目的地の写真など

道成寺駅



道成寺



興国寺



衣奈トンネル



紀伊由良駅 周辺地図



衣奈八幡神社



JR 湯浅駅



重要伝統的建造物群保存地区



いかがだったでしょうか？

和歌山県には、伝統的な文化や町並みが現在も引き継がれている地域があり、また様々なストーリーのある寺社があることがわかっていただけたかと思います。

県内には、まだまだ**魅力的なスポットがたくさんあります。**

これからも、それらの魅力あるスポットを、公共交通で周遊することができるプランをご紹介しますので、ぜひ楽しみにしてください☺